

協働通信

今回は、6月より地域おこし協力隊として都留市で活動されている齊藤(つがき)さん(31歳)にお話を伺いました。

※地域おこし協力隊とは…都市部から地方に生活の拠点を移し、一定期間以上環境保全活動、住民の生活支援などの各種の地域協力活動に従事できる意欲のある方を地域おこし協力隊員として委嘱し、地域への定住・定着を図る取組です。



■齊藤さんは、1歳半になるお子さんのお父さんでもあり、掃除・洗濯・料理など、家事は何でも得意で、お子さんをとっても可愛がっているそうです。

◆地域おこし協力隊として都留市に応募しようと思った理由を教えてください。

もともと埼玉に住んでいましたが、10年ほど前から田舎暮らしに憧れており、また将来的に地域資源を活かして起業することに興味を持っていました。

そんな中、全国の地域おこし協力隊の情報を得ることができると知り、商品開発をして流通させる場合の利便性などを考え、山梨県の地域おこし協力隊

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり交流センター(旧文化会館)1階
▽開館 火～日(祝日除) 8:30～17:15
▽問い合わせ先 mail: shien@city.tsuruyamanashi.jp ☎(43)1321 FAX(43)1322

の募集を探していたところ、都留市での募集を見つけ、すぐに応募しました。

◆都留市の印象はいかがでしたか。

第一印象は、昔の景観が残っているいなと思いましたが。特に、谷村町駅や都留文科大前駅の近くにある風見鶏は懐かしい雰囲気が出て好きです。それから、埼玉に比べて寒いですね。都留に住み始めて1カ月くらい経過しますが、いまだに朝晩は暖房を使っています(笑)。

◆今後の都留での活動について何かアイデアはありますか。

現在、「田舎暮らし体験ギフト」を構想中です。これは主に都市部に住んでいる方向けに、田舎暮らし体験を「贈り物」として販売しようというものです。例えば、両親の結婚記念日に子どもから田舎暮らし体験をプレゼントするなど。その際には、エコハウスや市内の空き家を宿泊施設として活用しようと思っています。

都留で田舎暮らしを体験してもらおうと都留の良さを知ってもらい、そのまま都留に移住・定住してもらおうのが目標ですね。僕は以前、インテリア関係の仕事をしていたので、空き家の改修作業が必要な場合には、そこで培ったノウハウを活かせればと思っています。

また、野菜の商品開発にも挑戦しています。エコハウスの庭で野菜を栽培して

いますが、詳細はまだ秘密にしておきます。成功すれば皆さんとても驚くものになると思いますので、ぜひ楽しみにしていただきたいです。



■エコハウスの庭で齊藤さんが育てている野菜がどんなものになるのか、地域で齊藤さんを見かけたら聞いてみるのもいいかもしれません。

◆最後に、地域の皆さんにメッセージをお願いします。

都留のことを知り、今ある地域資源を活かして新しいものを創造していく、こういうったクリエイティブなことを考えるのがとても楽しく、充実しています。都留やそこに住んでいる皆さんのことをもっと深く知り、関わっていきたくて考えていますので、どうぞこれからよろしくお願ひします。



■6月に青藍幼稚園で行われた保育参観にスタッフとして参加した齊藤さん。子どもたちからも大人気。



地域のイベントに声をかけてください！
地域おこし協力隊の活動車である電気自動車で、皆さんの元へ伺います！
連絡先
地域環境課 地域おこし協力隊 齊藤
☎(43)1111(内線173)

地域のお知らせ

三吉地域

子ども体験教室「釣り大会」
日時 8月9日(日)9時～

場所 菅野川

問合先 三吉地域協働のまちづくり推進
会会長 相川義美
☎(43)3093

谷村地域

夢実現ひろば

「懐かしの映画会」※上映作品未定
日時 8月27日(木)
13時30分～15時30分

場所 まちづくり交流センター
3階多目的ホール

問合先 まちづくり交流センター

開地地域

開地ふれあい集会の開催！
日時 8月30日(日)11時～

場所 すげのレジャー

問合先 開地地域協働のまちづくり推進
会会長 萩窪守
☎(43)7593